

第12回 町田市マスターズ水泳競技大会（長水路）

主催 町田市水泳協会
NPO 法人インターナショナルスポーツネットワーク

主管 町田市水泳協会 競技委員会

後援 セントラルウエルネスクラブ成瀬

公認 (社)日本マスターズ水泳協会
公認番号 12-003 (申請中)

1.日 時 2012年2月5日(日) 競技開始時間 9:00 (予定)

2.会 場 町田市立室内プール 50M×8 コース
東京都町田市図師町 199-1

3.参加資格 **大会の申込みをするまでに(社)日本マスターズ水泳協会へ 2012年度のチーム及び個人登録を完了された方。**
※ 2012年度チーム及び個人登録は必ず平成23年12月10日までに完了してから、申込みをしてください。

18歳以上(2012年度の暦年齢)で定期的に練習を行っている健康な男女

4.年令区分

(1) 個人種目は競技者の暦年齢 (2012年12月31日の年齢)により次の年齢区分によって行われる。以降同様に5歳ごととする。

グループ	18	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95
年 齢	18	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95
	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94	99

(2) リレー種目は競技者4名の暦年齢 (2011年12月31日の年齢)の合計により次の年齢区分によって行われる。以降同様に40歳ごととする。

グループ	119	120	160	200	240	280	320	360
年 齢	119	120	160	200	240	280	320	360
	以	5	5	5	5	5	5	5
	下	159	199	239	279	319	359	399

5.出場制限

- ①個人種目は2種目以内(リレーは除く)
- ②リレー競技出場者は、必ず同一チームから個人種目に申し込みをしていること。
- ③リレー競技出場者は、同一のリレー競技において、複数の年齢区分から出場することはできない。
- ④ リレー競技において同一の競技内で、同一チームからのエントリーは各年齢区分につき1組だけとする。

6.競技種目

個人種目	25	50	100	200	400	800	1500
自由形		○	○	○	○		
背泳ぎ		○	○	○			
平泳ぎ		○	○	○			
バタフライ		○	○	○			
個人メドレー				○			
フリーリレー				○			
メドレーリレー				○			
混合フリーリレー							
混合メドレーリレー							

6.競技方法

- ①(社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則による。
- ②競技は、年齢区分毎に男女別、種目別に行いタイムレース決勝と致します。
- ③競技は、年齢区分別に高年齢から低年齢へエントリータイムの遅い順より組み分けを行い、200m・400mの種目はエントリータイムの遅い順より組み分けを行い、進行させていただきます。尚、**200m、400m 自由形**はデッキシーディング種目とします。
- ③リレーの第一泳者の途中時間は公認記録となりません。また、リレー種目においては、24歳以下の泳者が入った場合は世界記録と認められません。
- ④当日は、サブプールでのアップが可能です。

7.競技順序 ※ 競技種目は女子、男子の順で行います。

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 200mメドレーリレー | ⑨ 50m平泳ぎ |
| ② 200m個人メドレー | ⑩ 50mバタフライ |
| ③ 100m自由形 | ⑪ 400m自由形 |
| ④ 100m背泳ぎ | ⑫ 200mフリーリレー |
| ⑤ 100m平泳ぎ | ⑬ 200m自由形 |
| ⑥ 100mバタフライ | ⑭ 200m背泳ぎ |
| ⑦ 50m自由形 | ⑮ 200m平泳ぎ |
| ⑧ 50m背泳ぎ | ⑯ 200mバタフライ |

8.参加標準記録及び参加人数制限

男女 400m自由形については、下記の参加標準記録と参加人数制限が適用されます。なお、申込書のエントリータイムは、この参加標準記録を超過したタイムでのエントリーはできませんのでご注意ください。大会当日この参加標準記録を超過して泳いだ個人には、メダルの授与は行ないません。また、競技の進行を時間的に著しく妨げると審判長が判断した時はその泳者の競技中止を行うことがあります。

女子（先着100名）				男子（先着100名）			
24才以下	6-45-00	60～64才	10-00-00	24才以下	6-10-00	60～64才	8-40-00
25～29才	7-00-00	65～69才	10-30-00	25～29才	6-20-00	65～69才	9-00-00
30～34才	7-15-00	70～74才	11-00-00	30～34才	6-30-00	70～74才	10-00-00
35～39才	7-30-00	75～79才	11-30-00	35～39才	6-40-00	75～79才	11-00-00
40～44才	7-50-00	80～84才	12-30-00	40～44才	6-50-00	80～84才	12-00-00
45～49才	8-10-00	85～89才	13-30-00	45～49才	7-10-00	85～89才	13-00-00
50～54才	8-30-00	90～94才	16-00-00	50～54才	7-30-00	90～94才	15-30-00
55～59才	9-00-00	95才以上	18-30-00	55～59才	7-50-00	95才以上	18-00-00

9.表彰

- ①参加者全員に、(社)日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与致します。
 - ②男女別、年齢区分別に上位3位までにメダルを授与致します。
 - ③2012年マスターズ日本記録を突破(タイ)した個人およびリレーチームには、日本記録樹立証を授与致します。
 - ④国際水泳連盟(FINA)認定マスターズ水泳世界記録を突破した個人及びリレーチームに世界記録突破証を授与し、その記録をFINAに申請する。
- なお、世界記録を突破する可能性のある選手は、事前に世界記録申請用紙にその旨を記入し、インフォメーションデスクに届け出ること。

11.個人情報の取り扱いについて

申込書等に記載されました個人情報につきましては、競技会のプログラムやランキングの作成を含み競技会運営を円滑に行うために必要なものだけに使用し、その他の目的には使用、提供いたしません。なお、会場によっては、スタートリスト、競技結果などがインターネット上に公開される場合がありますので予めご承知おきのうえ、お申込み下さい。
(プログラム作成 有限会社東洋電子システム)

12.申し込み方法

個人種目およびリレー種目の申し込みは、(社)日本マスターズ水泳協会規定の個票とリレーオーダー用紙、申し込み一覧表を使用し必要事項を記入の上お申し込み下さい。合せて、「第12回町田市マスターズ水泳競技大会申込書」「誓約書」に必要事項を記入、捺印の上、振込み書のコピーを貼りつけて各チームでまとめて下記の所まで郵送でお申し込み下さい。

申し込み時に必要な書類

- ①(社)日本マスターズ水泳協会指定個人種目の個票およびリレー種目の個票
及びリレーオーダー用紙、出場申込一覧表
- ②第12回町田市水泳競技大会申込書及び振込用紙のコピー
- ③誓約書

書類の郵送先

〒252-0228 神奈川県相模原市中央区並木 1-8-16 協栄スイミングクラブ 相模原

諸費用の振込先

八千代銀行 町田木曾支店(032) 普通預金 □座番号 0776717
□座名 まちだしすいえいきょうかい 町田市水泳協会 かいけい 会計 しもざわ 下澤 せいや 誠也

問い合わせ先

町田市水泳協会 事務局 (担当 若林・白井) 協栄スイミング相模原内 TEL 042-758-0202

12.申し込み〆切日

2011年12月16日(金) 必着

第12回 町田市マスタースズ水泳競技大会申込書

登録 No ー _____ クラブ名 _____ 略称名 _____

住所 〒 ー _____

TEL _____ Fax _____

申込責任者 _____ 印 ※住所、申込み責任者名は、第2要項を送りますので、正確にご記入ください。

申込数

男子	参加者数	名	個人	種目	リレー	種目
女子	参加者数	名	個人	種目	リレー	種目
合計	参加者数	名	個人	種目	リレー	種目

申込金

個人種目	1200円×	種目	=	円
リレー種目	2000円×	種目	=	円
ランキング	1000円×	部	=	円
プログラム	1000円×	部	=	円
申込合計金額				円

競技役員（出場者数 10 名以上のチームは、できるだけ 1 名の競技役員のご協力を
お願いいたします）

氏名 _____ 希望役職 _____

振込添付用紙

- ☆ 振込領収書のコピーを必ず添付してください。
- ☆ 添付がない場合エントリーの受付が出来ません。
- ☆ 振込手数料はクラブ負担となります。
- ☆ 振込は、必ずクラブ名でお振込みください。
- ☆ 2011年12月16日（金）必着

〈競技は、日本マスタース水泳協会競技規則に準じて行います〉

(社)日本マスタース水泳協会競泳競技規則の主な変更ヶ所を記載します。

〈出発〉

出発合図の前にスタートの動作を起こした競技者は失格となる。失格が宣言される前にスタートの合図が発せられていた場合、競技は続行し、その競技者は競技終了後失格となる。出発合図の前に違反があった場合は、出発の合図を行わないで、その競技者を失格とする。他の競技者については、出発のやり直しを行う。審判長は、出発のやり直しを行う場合、長いホイッスル（背泳ぎは 2 回目の長いホイッスル）から行う。

〈競技〉

いかなる競技者も、ドーピング規定で禁止されている薬物を使用したり、競技中にその速力・浮力または耐久力を助けるような器具（たとえば、水かきのある手袋、手ひれ、フィン等）・仕掛けや水泳着等を使用したり、着用してはならない。ただし、ゴーグルおよびスイミングキャップは着用してもよい。テーピング等の使用は、審判長が認めた場合に許される。

〈平泳ぎ〉

1) スタートおよび折返し後の一かき目は、完全に脚のところまで行うことができ、この間身体は水没することが許される。一かき目の間に、次の平泳ぎのけりにつながる一回のバタフライキックは許される。

2) 折返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手同時に行わなければならない。タッチの前、最後の泳ぎのサイクルが完全または不完全な場合でも、頭の一部が水面上に出ること。動作後は頭が水没してもよい

〈バタフライ〉

全て足の上下動作は同時に行われなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、左右同時でなければならない。一かきに一回の平泳ぎの足のけりは許される。折返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足のけりが許される。また、スタートおよび折返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足のけりが許される。

(MSW3.10)

〈メドレー〉

個人メドレーは、四泳法を次の順序によって泳がなければならない。各種目の距離は、1/4 とする。

〈リレー〉

リレー競技に出場できる競技者は、その競技会に同一チームから個人競技の申込みをしている競技者、および主管団体が公表した競技会の出場登録を完了した競技者に限られる。

〈記録〉

公認される記録は、男女共、次の種目・距離に限られる。

(1) 長水路

自由形	50M	100M	200M	400M	800M	1500M
背泳ぎ	50M	100M	200M			
平泳ぎ	50M	100M	200M			
バタフライ	50M	100M	200M			
個人メドレー	200M	400M				
フリーリレー	4×50M	4×100M	4×200M			
メドレーリレー	4×50M	4×100M				
混合フリーリレー	4×50M	4×100M	4×200M	(女子2名・男子2名)		
混合メドレーリレー	4×50M	4×100M		(女子2名・男子2名)		

(2) 短水路

自由形	25M	50M	100M	200M	400M	800M	1500M
背泳ぎ	25M	50M	100M	200M			
平泳ぎ	25M	50M	100M	200M			
バタフライ	25M	50M	100M	200M			
個人メドレー	100M	200M	400M				
フリーリレー	4×25M	4×50M	4×100M	4×200M			
メドレーリレー	4×25M	4×50M	4×100M				
混合フリーリレー	4×25M	4×50M	4×100M	4×200M	(女子2名・男子2名)		
混合メドレーリレー	4×25M	4×50M	4×100M		(女子2名・男子2名)		

(3) 現行の世界記録をしのぐ記録が樹立された時は、本協会から FINA 宛に報告できるよう、次のことを確認し手続きを取らなければならない。

(財) 日本水泳連盟のプール公認規則に基づき公認されたプール（以下「公認プール」という）で樹立された記録でなければ、世界記録として認められない。

〈その他〉

全ての競技会において競技者は水泳着を着用しなくてはならない。水泳着等は、見苦しいもの、不謹慎な水泳着の着用を禁ずる。審判長は競技者の水泳着が透けているもの等、規定に当てはまらないときは、その競技者の出場をやめさせる。

水泳着の素材・形状等は、本協会が認めたものに限る。

※ 詳細につきましては、

『水着について』2010年4月2日付

(社) 日本マスターズ水泳協会 競技委員会 からの資料をご参照ください。

また協会からのホームページからもご確認できます。

以上